

# 高齢者が安心して くらせる施策の実施を

(老人保健特別会計)

6月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに2特別会計補正予算は、一般会計では職員の人事異動にもなう人件費の調整や中学校施設管理工事費ほかの計上でした。また、特別会計では、主に前年度老人医療交付金の精算による返還や介護保険料被保険者還付金のほか、一般会計と同様に職員の人事異動にもなう人件費の調整でした。

## 6月補正予算質疑

### 選挙公約の実現に向けて努力しているか

中津伸一議員

町長は選挙公約の中で特別養護老人ホームをつくらと明言しています。議会議員も各常任委員会でしっかりと方向づけをして、一生懸命、特別養護老人ホームの必要性を説いています。町長選挙の期間中「私はやります。国からも助成金・補助金を持てきます。私の政治力に期待してください」といふ町長の演説を聞きました。



特養を研修する文教厚生常任委員

今現在、特別養護老人ホームに關してどのような方法で国や県に働きかけ、どのような予算を持て来ようとしているのですか。

**山田町長** はっきり返事ができる状態ではありませんが、国や県に行つて一生懸命、公益法人、社会福祉法人、民間の法人など、いろいろ勉強しています。今まで以上に検討して行きますので、もう少し猶予期間をいただきたいと思ひます。

### 個人の負担は軽くても町の負担は大きい

中津伸一議員

マッサージは、保険を利用すると500円ほど出せばできるため、楽しみに通っている高齢者が多くいます。一つの考えとして、3,000円、4,000円かかるマッサージが、500円程度ならなれば、やはり高齢者は通つのかなと考えるわけですが、多額の費用をとまなう以上、もつと違う方向で健康に關心を持つような施策が必要だと思ひます。

**塚越助役** 医療機関の方に行かない、目を向けないといった方法の施策が重要になると考えています。できればシルバー人材を立ち上げて、常々そこへ何らかの働きをしていただければと考えています。

## 永年の功績に対し

## 福島県町村議会議長会から表彰

〔特別功勞表彰〕

福島県町村議会議長会から松本浩司議員、鈴木紀昭議員が表彰されました。

この表彰は、議會議員として20年にわたり、地方自治の振興発展と住民福祉の向上に寄与された功績に対し贈られるものです。松本浩司議員と鈴木紀昭議員は、昭和62年4月30日から現在まで5期在職しています。

〔自治功勞表彰〕

福島県町村議会議長会から坂本紀一議長が表彰されました。この表彰は、議會議員として11年以上にわたり、地方自治の振興発展と住民福祉の向上に寄与された功績に対し贈られるものです。坂本紀一議長は、平成7年4月30日から現在まで3期在職しています。



坂本紀一 議長



鈴木紀昭 議員



松本浩司 議員

## 意見書を国に提出 国の一方的な都合により 地方交付税を削減しないこと

議員発議 地方交付税の充実・確保に関する意見書

提出者 松本 浩司

賛成者 渡邊 正俊、塩 史子

〔要旨〕

町村は、長引く景気低迷により税収が落ち込む中、行財政改革に積極的に取り組み、財政の健全化に鋭意努めているが、依然として厳しい財政運営を余儀なくされている。

こうした中、6月に策定される予定の「骨太の方針 2006」に向けて国の経済財政諮問会議等で行われている議論は、これまでの地方財政の歳出削減努力を無視するかのように地方交付税の削減を中心とした地方財政の圧縮が焦点となっている。

これは、国の財政再建のみを優先し、地方交付税制度や地方の実情をまったく無視したもので、断じて受け入れることはできない。

よって、課税客体にとぼしい町村が、地域社会の存立基盤を維持し、基本的、標準的行政サービスを提供できるよう強く要望する。

〔提出先〕

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣



広野町役場



高齢者の体力テスト

### 18年度6月補正結果 (会計別予算額)

一般会計	46億313万円 (補正額 △1,554万円)
老人保健特別会計	6億3,793万円 (補正額 79万円)
介護保険特別会計	2億4,745万円 (補正額 56万円)

### 6月補正の主な内容

財政調整基金繰入金 △1,564万円